

口腔内健診の結果報告

検診日： 2013年11月7日（水）

義歯関連

- 義歯を普段装着されていないようです。
- 義歯がゆるく外れやすい状態です。
- 義歯装着時に痛みがあるようです。
- かみ合わせが悪いようです。
- 嚥下機能の低下があります。

歯が抜けたままになっています。

近年、要介護高齢者の「窒息事故」や「転倒事故」が問題となっております。

窒息事故は発生すると約6割が死亡につながり、その数は交通事故死よりも多くなってきているのが現状です。窒息はかみ合わせが悪い人に多いと言われていました。また、高齢者の転倒は6%が骨折につながると言われています。良好な義歯を装着すると転倒のリスクが5分の2になるそうです。厚生労働省は、それらを予防するために良好なかみ合わせを作ること、良好な義歯を作ることをご推奨しています。しかしながら、重度の認知症の方の場合新しい義歯に慣れない事も多くあります。義歯に関する詳しい検査をお勧めします。

衛生状態

- 口腔が乾燥しています。
- 衛生状態が不良です。
- 歯肉が腫れています。
- 歯が動揺しています。

口腔内には多くの細菌がいます。その細菌が気管にはいることで発症する「誤嚥性肺炎」が発症します。高齢の方はご自身で十分な口腔清掃ができません。定期的に専門的に口腔清掃することで誤嚥性肺炎の発症率が半分～3分の2になると言われています。

歯科医療職による定期的な清掃をお勧めします。

虫歯

- 将来痛みがでる可能性のある虫歯があります。

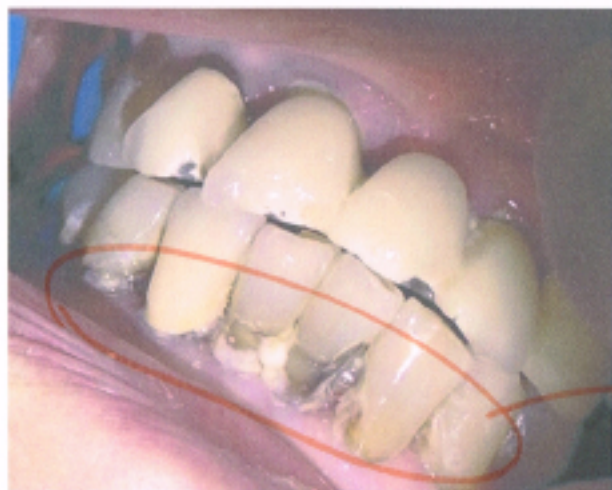
我々が訪問歯科診療を行う際難しい処置の一つに虫歯の治療があります。特に虫歯が進行し神経を侵した場合には痛みを伴い、精密な治療が必要となります。しかし、体力や認知症などの問題で十分に治療ができず、痛みながら余生を過ごされる方も多いのが現状です。予防的に虫歯の処置をお勧めします。

〒571-0041 門真市柳町5-1 グランドモール門真117号

電話番号 06-6995-4151

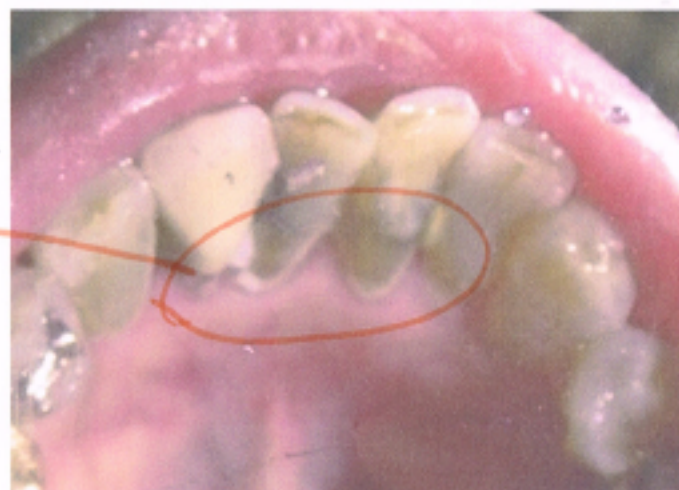
かわい歯科お口のケアクリニック

院長：河合利彦



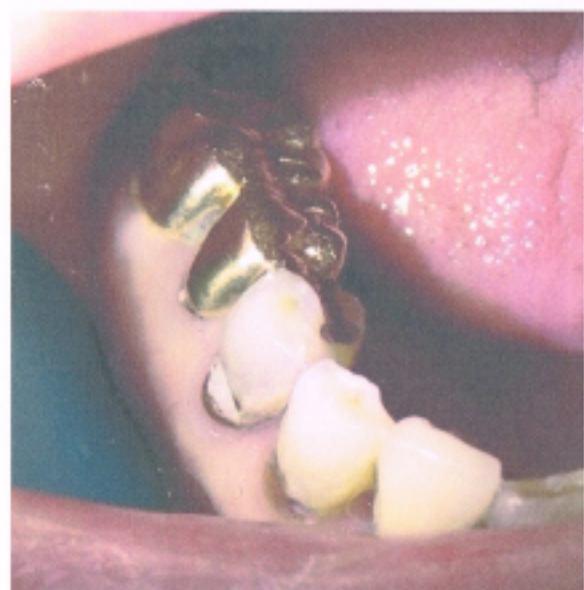
前歯 咬み合わせに状態

食べカスや細菌の塊が多量に
付着しています。
歯ぐきが腫れています。



下前歯裏側

歯石が付着しています。



右下奥歯

〈総評〉

口の中の衛生状態が悪いです。
肺炎予防のためにも歯みかきの励行として
参ります。
また歯と歯の間に噛み合わせが悪い状態です。
歯科受診をお勧めします。
安全に食べられる状態に整える目的。

虫歯と歯がはくはれている。

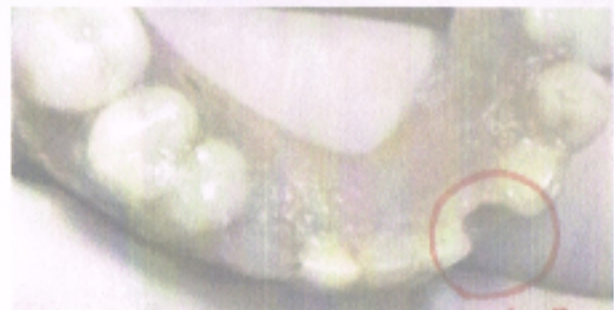


上 裏側から

2013/11/7

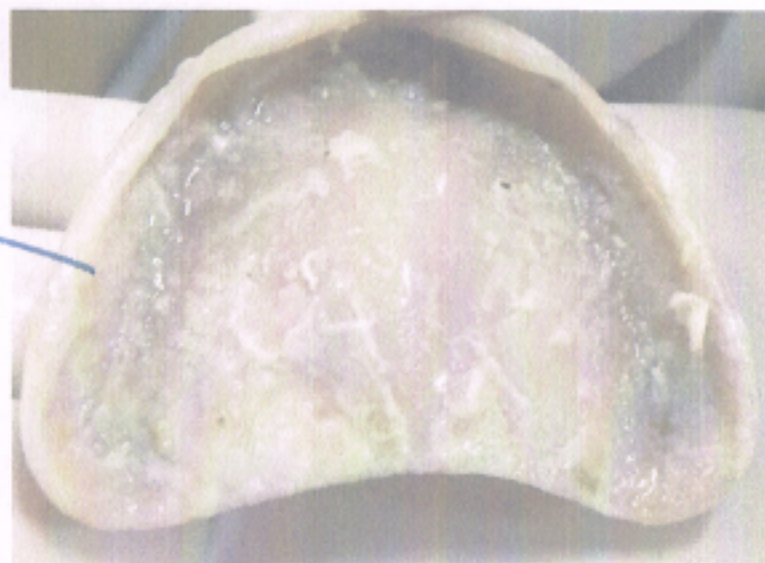


下の入れ歯 表側



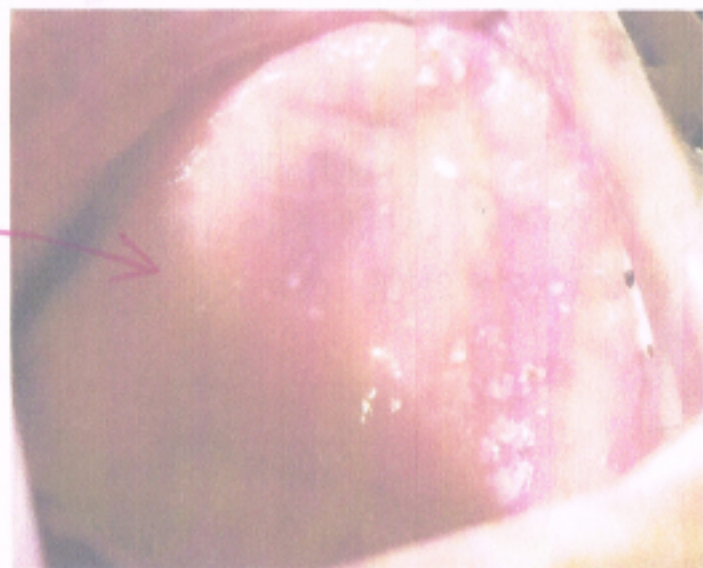
入れ歯の歯が取れてしまっています

- 上下入れ歯の表・裏全てに少量の食べカスとほいせんが付着しています 白いモヤモヤしたもの
- 食べカスが入れ歯の内側に入り込むのは 適合が悪いからです



上の入れ歯 裏側

- ① ほいせんが付着 濃い色のほいせんに感染して炎症を及ぼしています。ほいせん=カンジダ(カビ)



上あご

<総評> 治療が必需です

口の中が非常に不衛生な状態です。粘膜にカビが感染しているようです。食後入れ歯を外によく洗い、お口もうがいとして食べカスを身取り除きまわす。また上下共に入れ歯が合っていないので安全に食事を頂くためにも入れ歯の新製をお勧めします。

2013/11/7